

学校運営協議会 会議実施報告書

- 1 会議名 岐阜市立岐阜商業高等学校 学校運営協議会（第2回）
- 2 開催日時 令和6年2月5日（月）9時15分～11時40分
- 3 開催場所 本校 会議室
- 4 参加者

会長	竹本 康史	岐阜聖徳学園大学教授
委員	桐生 伸治	鏡島自治会連合会会長
〃	山内 義孝	(株)サムソンフィクセル代表取締役社長
〃	臼井こずえ	西児童センター所長
〃	祐川 藍	前PTA副会長
〃	池本 頼史	PTA会長

<学校側>

副会長	和田 摂子	校長
委員	松山 淳	事務長
〃	武藤 純二	教頭
〃	野村 昌史	教務主任
〃	榎本 修一	生徒指導主事
〃	澤田 幸男	進路指導主事
〃	岩橋 浩二	特別活動部長
〃	寺澤 裕紀	いじめ対策監

- 5 目的 保護者や地域住民と目標やビジョンを共有して連携を深め、家庭や地域と一体となって生徒を育む「家庭・地域とともにある学校づくり」を推進する。
- 6 会議の概要（協議事項）
 - (1) 令和5年度自己評価・学校関係者評価報告書について
意見1：グローバルマネジメントコースで中国との交流を行うようになったきっかけは何か。
⇒岐阜市と中国杭州市が友好都市提携を結んだことである。その後、昭和63年9月に中国杭州市にある杭州市総合中等专业学校（現在の杭州市旅游職業学校）と友好協議書に調印を行い、平成元年の学科改編を機に中国語の学習と交流が始まっている。

意見2：習熟度別・少人数指導など個々の生徒に合わせた学習支援は、生徒の力を伸ばしていくことになるため、今後も丁寧に取組んでもらいたい。

意見3：自転車による交通事故の原因は、生徒の不注意によるものが多いのか。
⇒相手方の一時不停止や交差点での確認不足など、不注意によるものがほとんどである。集会時に交通事故の原因等を説明し、交通ルール順守やヘルメット着用を啓発し交通事故防止に努めていきたい。

意見4：校則の見直しについては、委員会等を設置し定期的に生徒と一緒に考えていく体制と組織づくりを検討してほしい。

意見5：地域の小学生や中学生のお手本となる挨拶や自転車でのヘルメット着用を含めた交通マナーの取組に期待している。

意見6：地域の方々からも「市岐商デパート」は注目されている。特に、高校生らしい親しみのある接客はとても好評であった。一方で、将来を見据え、販売員としての接客マナーも大切にすべきではないかという意見もあるため、今後の指導の参考にしてほしい。

(2) 「課題研究発表会」参観

(3) 来年度に向けての意見交換等

意見1：生徒が使用しているスリッパについて、地震等が発生した際の避難時の安全性についてはどのように考えているか。

⇒業者からも避難時の安全性に配慮したスリッパ等を提案されているため、生徒の安全を第一に考えていきたい。

意見2：「市岐商デパート」のように、一般の方々が多く来校される学校行事を開催する時には、地域に詳細な情報を提供するなど情報共有を大切にしてほしい。

意見3：「市岐商デパート」は今年で41回目と地域でも注目されている。卒業生が経営している企業との連携も考えながら、今後もより魅力のある「市岐商デパート」を運営してほしい。

意見4：生徒たちのプレゼンテーション能力をどのように育成していくのかを念頭においた教育活動の実践を期待している。

意見5：地域や卒業生との連携を深めながら、失敗を恐れずに何事にも挑戦していく心をもった生徒を育ててもらいたい。その結果、本校で3年間を終えたときに、“本校で学ぶことができて良かった”と思える生徒が増えていくことを期待している。

7 会議のまとめ

- ・第2回学校運営協議会において、各委員から忌憚のない、また的確な意見が得られた。様々な視点の意見から改善が必要なところは速やかに対応し、今後の学校運営に生かしていきたい。